



理事長より新年の御挨拶



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。



昨年秋に内閣改造を行った安部首相が掲げた新三本の矢「強い経済」「子育て支援」「社会保障」。一億総活躍社会との提唱が生まれ、この中で「介護離職ゼロ」の実現に向け取

り組むとの発表がなされました。特別養護老人ホームを中心とする介護施設や在宅介護サービスを充実させ、家族内介護に歯止めを掛け社会で活躍してもらうことを目的とするものです。介護の社会化は当法人会の本理念でもあります。安心して高齢者を託して頂ける施設であらねばと再認識すると同時に、介護職の社会的地位の向上、賃金の引き上げは素より介護と言う職業が誉りと自身に満ち溢れる環境であるように願いますが、マスコミ等でニクだ・低賃金だ、と流布されている間はまだまだ先が見えない状況です。まずは黨会で働いてよかったと職員が声を出してくれるよう一同努力する所存です。

また、地域包括ケアシステムと地域医療構想とが始動いたします。北九州市は政令都市の中で最も高齢化率の高い街です。当市の実情に合ったサービス提供が出来るよう、医療・介護・住まいの各事業が協力し構築していかねばなりません。その一翼を担えるよう役職員一丸となり対応して参りたいと存じます。

さて、当黨会では、お陰様をもちまして、昨年四月よりユニット特養「絆館」を増床し、新しいご利用者の皆様と新年を迎えることが出来ました。施設生活に慣れ大家族生活を満喫して頂きたいと願っています。

今年は申年。「申」は十二支の九番目ですが、「草木が十分に伸び、実が成熟し香りと味が備わり穀に覆われていく時期」だと言われます。また、「申」が去るといふ意味で「悪いことが去る」「病が去る」「魔が去る」「良いことや幸せがやって来る年とする一説もあります」。

努力が実る一年したいとの願いを込め、皆様の深い御理解と御支援をお願い申し上げます。

健康で長生きを！

